



鶴岡市立荘内病院 医学雑誌

第30巻/ 2019

The Medical Journal of Tsuruoka Municipal Shonai Hospital

巻頭の言葉

院 長 鈴 木 聡

特集 特定行為に係る看護師の研修を修了して 1

認定看護師による「特定行為に係る看護師の研修」受講からの取り組み 副院長兼看護部長 原田あけみ

当院における活動 特定 集中ケア認定看護師 三浦良哉

病院・地域における活動 特定 皮膚・排泄ケア認定看護師 梅本貴子

原著・研究・症例

閉鎖孔ヘルニア46例の検討 15

外 科 太田依璃子

ニボルマブ投与後に細胞障害性抗癌剤単剤投与が2度奏功した肺癌の1例 21

呼 吸 器 科 河上 英則

荘内病院脳神経外科の50年 27

脳神経外科 佐藤 和彦

急性期脳梗塞に対するアルガトロバン高用量療法の経験 37

脳神経外科 佐藤 和彦

乳幼児の「おしゃぶり」と不正咬合 45

小 児 科 布施 理子

TKA術前計画CT検査におけるSDの増加が三次元術前計画システムに及ぼす影響 51

放射線画像センター 佐藤 大樹

当院救急外来看護師の代理意思決定支援の現状と課題 59

看護部 救急センター 小南亜矢子

Family Centered Careに活かせる情報収集を目指して-入院時情報用紙の改訂を検討して 65

看護部 NICU・GCU 菅原 留美

エンジンバラ産後うつ病調査票高得点者のリスク因子の分析 73

看護部 4階西入院棟 梅津 和佳

体内固定用金属製スクリューの向きがSEMAR画像に与える影響について 79

放射線画像センター 大澤 由瑛

2018年 学術活動業績 85

VI 2018年 荘内病院におけるがん登録の現況報告

当院は、平成22年10月に山形県がん診療連携指定病院に指定され、平成23年から山形県がん診療連携協議会がん登録部会に参加し、平成25年以後院内がん登録を国に報告している。平成27年は、山形県のがん登録は9350件、当院の登録は727件で、山形県のがん症例の7.8%が当院から登録されていた。

2018年の当院におけるがん登録の現況を報告する。登録患者760件で前年比97%であった。呼吸器外科の常勤医が不在となった事により、肺癌の登録数が減少した事が影響したと思われる。

来院経路は約65%が紹介（他院／がん検診／健康診断）であった。発見経路は、自覚症状で受診して診断されたものが46%、他疾患経過観察中が31%、ドック・健診が22%であった。がん検診、人間ドック、健康診断による発見が、国立がんセンター発表の全国平均が20%以下に対し当院は22%とやや多い。また、当院で登録されたがん患者の約87%は当院で治療を行った。

来 院 経 路 別

（全症例）

来院経路	29年症例件数/(割合)
自主受診	110 (14.0%)
他施設紹介	545 (69.3%)
他疾患経過観察中	99 (12.6%)
その他	32 (4.1%)
合 計	786 (100.0%)

来院経路	30年症例件数/(割合)
自主受診	99 (13.0%)
他施設紹介	494 (65.0%)
他疾患経過観察中	116 (15.3%)
その他	51 (6.7%)
合 計	760 (100.0%)

発 見 経 緯 別

（全症例）

発見経緯	29年症例件数/(割合)
がん検診・検診等	184 (23.4%)
他疾患経過観察中	233 (29.6%)
剖検発見	0 (0.0%)
その他	360 (45.8%)
不明	9 (1.1%)
合 計	786 (100.0%)

発見経緯	30年症例件数/(割合)
がん検診・検診等	166 (21.8%)
他疾患経過観察中	237 (31.2%)
剖検発見	0 (0.0%)
その他	347 (45.7%)
不明	10 (1.3%)
合 計	760 (100.0%)

症 例 区 分 別

（全症例）

症例区分	29年症例件数/(割合)
診断のみ	84 (10.7%)
自施設診断・自施設治療開始	530 (67.4%)
自施設診断・自施設治療継続	0 (0.0%)
他施設診断・自施設治療開始	123 (15.6%)
他施設診断・自施設治療継続	9 (1.1%)
初回治療終了後	29 (3.7%)
その他	11 (1.4%)
合 計	786 (100.0%)

症例区分	30年症例件数/(割合)
診断のみ	90 (11.8%)
自施設診断・自施設治療開始	528 (69.5%)
自施設診断・自施設治療継続	0 (0.0%)
他施設診断・自施設治療開始	99 (13.0%)
他施設診断・自施設治療継続	10 (1.3%)
初回治療終了後	18 (2.4%)
その他	15 (2.0%)
合 計	760 (100.0%)

地域がん登録届出件数

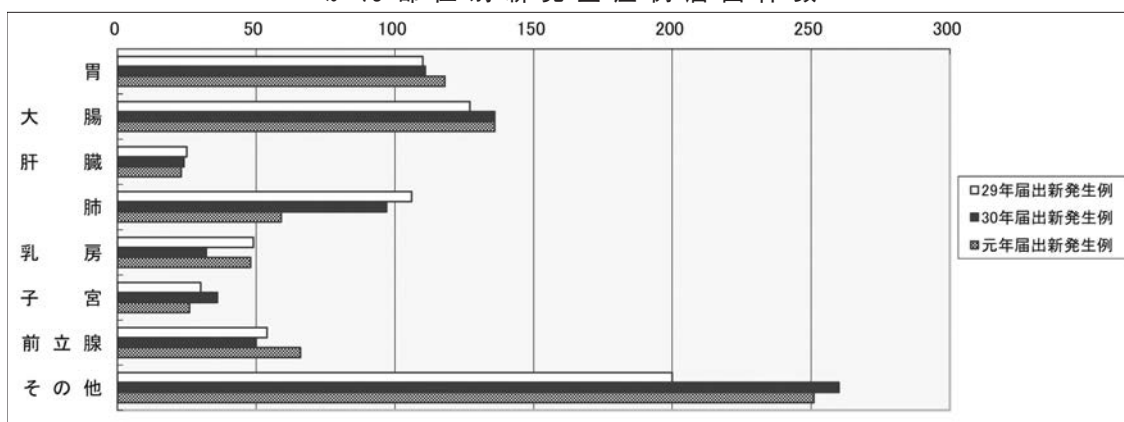
(全症例)

性 別	29年届出	30年届出	元年届出
男	412	479	459
女	315	307	301
総 数	727	786	760

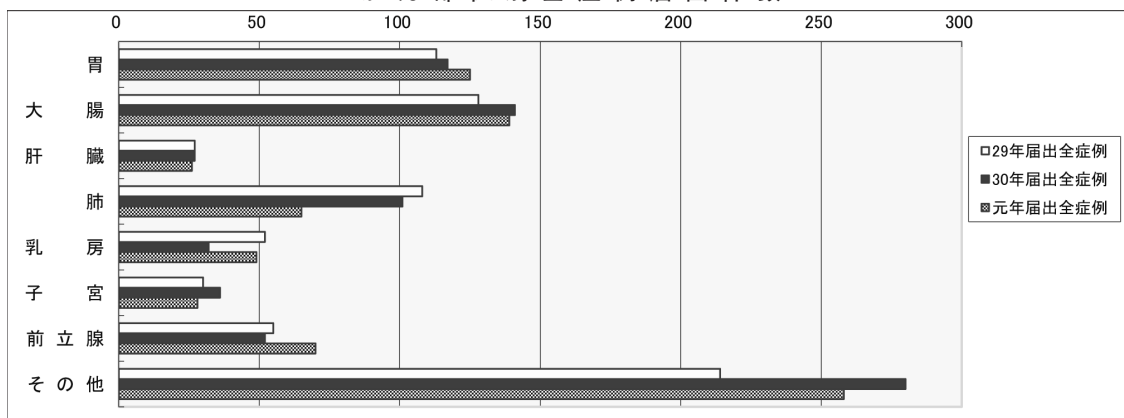
部位別届出件数

部 位	29年届出新発生例	29年届出全症例	30年届出新発生例	30年届出全症例	元年届出新発生例	元年届出全症例
胃	110	113	111	117	118	125
大 腸	127	128	136	141	136	139
肝 臓	25	27	24	27	23	26
肺	106	108	97	101	59	65
乳 房	49	52	32	32	48	49
子 宮	30	30	36	36	26	28
前 立 腺	54	55	50	52	66	70
そ の 他	200	214	260	280	251	258
総 数	701	727	746	786	727	760

がん部位別新発生症例届出件数



がん部位別全症例届出件数



性別別届出患者数

(全症例)

部 位	平成29年届出			平成30年届出			令和元年届出		
	男	女	計	男	女	計	男	女	計
C02-04 口唇・口腔	3	3	6	3	6	9	5	3	8
C07-08 大唾液腺	0	0	0	0	0	0	1	0	1
C06-14 咽頭	0	0	0	3	1	4	0	1	1
C15 食道	7	4	11	24	2	26	22	1	23
C16 胃	72	41	113	82	35	117	93	32	125
C17 小腸	0	1	1	4	1	5	1	1	2
C18-19 結腸	58	35	93	64	57	121	54	52	106
C20 直腸	20	15	35	12	8	20	23	10	33
C21 肛門管	0	0	0	0	0	0	1	0	1
C22 肝・肝内胆管	16	11	27	21	6	27	15	11	26
C23 胆のう	3	7	10	5	5	10	6	6	12
C24 胆管	14	12	26	20	6	26	12	9	21
C25 膵臓	18	21	39	26	17	43	23	14	37
C32 喉頭	2	0	2	1	0	1	1	0	1
C34 肺	75	33	108	78	23	101	50	15	65
C37 胸腺	1	1	2	0	0	0	1	0	1
C38・47-49 軟部組織	3	2	5	1	4	5	4	1	5
C40-41 骨	1	0	1	2	0	2	0	0	0
C42 造血系	10	8	18	14	6	20	11	10	21
C44 皮膚	4	5	9	3	7	10	6	6	12
C50 乳房	0	52	52	0	32	32	1	48	49
C51 外陰		0	0		1	1		0	0
C52 膣		0	0		0	0		0	0
C53 子宮頸部		18	18		29	29		16	16
C54 子宮内膜		12	12		7	7		12	12
C56 卵巣		2	2		11	11		9	9
C57 卵管		1	1		0	0		0	0
C60 陰茎	0		0	0		0	0		0
C61 前立腺	55		55	52		52	70		70
C62 精巣	1		1	0		0	1		1
C64-66 腎・尿路（膀胱を除く）	11	6	17	9	6	15	12	9	21
C67 膀胱	21	5	26	32	10	42	22	5	27
C70 髄膜	1	4	5	0	2	2	2	4	6
C71 脳	3	3	6	5	3	8	6	5	11
C72 脳神経系	1	1	2	0	0	0	1	1	2
C73-75 甲状腺・その他の内分泌腺	3	9	12	1	7	8	3	10	13
C77 リンパ節	5	2	7	13	9	22	7	4	11
C80 原発不明癌	4	1	5	4	6	10	5	6	11
合 計	412	315	727	479	307	786	459	301	760

10歳年齢階級別登録数

(新発症例)

部 位	0-29	30-39	40-49	50-54	55-59	50-59	60-69	70-79	80-89	90-	合 計
C02-06 口唇・口腔	0	0	0	0	1	1	3	0	2	1	7
C07-C08 大唾液腺	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
C06-14 咽頭	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
C15 食道	0	0	0	0	2	2	6	5	5	0	18
C16 胃	0	0	0	5	1	6	30	44	35	3	118
C17 小腸	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2
C18-19 結腸	0	1	4	0	3	3	19	27	39	10	103
C20 直腸	0	0	1	1	7	8	6	8	9	1	33
C21 肛門管	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
C22 肝・肝内胆管	0	0	0	0	1	1	5	8	8	1	23
C23 胆のう	0	0	0	0	1	1	3	3	2	3	12
C24 胆管	0	0	0	0	0	0	0	9	5	7	21
C25 膵臓	0	0	0	0	3	3	9	9	12	4	37
C32 喉頭	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
C34 肺	0	0	0	1	3	4	17	15	19	4	59
C37 胸腺	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1
C38・47-49 軟部組織	0	1	0	0	0	0	0	2	1	1	5
C42 造血系	0	0	0	1	1	2	3	4	11	1	21
C44 皮膚	0	0	0	1	0	1	1	3	6	1	12
C50 乳房	0	1	6	0	2	2	8	21	8	2	48
C53 子宮頸部	1	7	3	0	1	1	1	1	0	1	15
C54 子宮内膜	0	0	2	3	2	5	1	1	1	1	11
C56 卵巣	1	0	0	1	2	3	2	3	0	0	9
C61 前立腺	0	0	0	1	2	3	14	25	23	1	66
C62 精巣	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
C64-66 腎・尿路（膀胱除く）	0	0	0	0	0	0	4	4	11	2	21
C67 膀胱	0	0	1	0	1	1	5	6	13	1	27
C70 髄膜	0	0	0	0	0	0	0	4	2	0	6
C71 脳	2	1	0	0	1	1	1	3	2	1	11
C72 脳神経系	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
C73-75 甲状腺・その他の内分泌腺	0	1	1	1	1	2	3	3	3	0	13
C77 リンパ節	0	0	0	1	0	1	3	4	3	0	11
C80 原発不明癌	0	0	1	1	0	1	1	2	5	1	11
合 計	4	12	19	17	35	53	150	216	226	47	727

VII 荘内病院人間ドック・検診検討委員会報告

人間ドック・検診成績表

		受診者(A)	要精検者(B)	精検受診者中 回報書回収(C)	がん以外 その他疾患(D)	がん (E)	
		(一次検診 受診者数)	(要精検率) 要精検者/受診者 (B)/(A)	(精検受診率) 回収/要精検者 (C)/(B)	疾患/要精検者 (D)/(B)	(陽性反応適中度) がん/要精検者 (E)/(B)	(がん発見率) がん/受診者 (E)/(A)
H28ドック	大腸がん検診	1,857	139 7.49%	95 68.35%	57 41.01%	2 1.44%	0.11%
	胃がん検診	1,828	68 3.72%	46 67.65%	27 39.71%	10 14.71%	0.55%
	肺がん検診	1,858	48 2.58%	38 79.17%	23 47.92%	1 2.08%	0.05%
	子宮がん検診	490	4 0.82%	4 100.00%	3 75.00%	0 0.00%	0.00%
	乳がん検診	652	36 5.52%	30 83.33%	9 25.00%	2 5.56%	0.31%
	甲状腺	652	1 0.15%	1 100.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00%
H29ドック	大腸がん検診	1,767	116 6.56%	77 66.38%	29 25.00%	1 0.86%	0.06%
	胃がん検診	1,748	48 2.75%	30 62.50%	13 27.08%	4 8.33%	0.23%
	肺がん検診	1,774	50 2.82%	41 82.00%	24 48.00%	1 2.00%	0.06%
	子宮がん検診	475	2 0.42%	1 50.00%	0 0.00%	0 0.00%	0.00%
	乳がん検診	623	33 5.30%	26 78.79%	9 27.27%	2 6.06%	0.32%
	甲状腺	623	7 1.12%	6 85.71%	1 14.29%	0 0.00%	0.00%
H30ドック	大腸がん検診	1,829	107 5.85%	79 73.83%	35 32.71%	4 3.74%	0.22%
	胃がん検診	1,790	51 2.85%	31 60.78%	14 27.45%	8 15.69%	0.45%
	肺がん検診	1,826	95 5.20%	65 68.42%	41 43.16%	2 2.11%	0.11%
	子宮がん検診	501	11 2.20%	8 72.73%	4 36.36%	0 0.00%	0.00%
	乳がん検診	567	63 11.11%	61 96.83%	11 17.46%	3 4.76%	0.53%
	甲状腺						
		受診者(A)	要精検者(B)	精検受診者中 回報書回収(C)	がん以外 その他疾患(D)	がん (E)	
		(一次検診 受診者数)	(要精検率) 要精検者/受診者 (B)/(A)	(精検受診率) 回収/要精検者 (C)/(B)	疾患/要精検者 (D)/(B)	(陽性反応適中度) がん/要精検者 (E)/(B)	(がん発見率) がん/受診者 (E)/(A)
H28検診	乳がん検診	177	15 8.47%	14 93.33%	3 20.00%	0 0.00%	0.00%
	甲状腺	177	8 4.52%	7 87.50%	2 25.00%	0 0.00%	0.00%
H29検診	乳がん検診	179	13 7.26%	12 92.31%	1 7.69%	2 15.38%	1.12%
	甲状腺	179	6 3.35%	6 100.00%	2 33.33%	0 0.00%	0.00%
H30検診	乳がん検診	173	22 12.72%	21 95.45%	2 9.09%	1 4.55%	0.58%
	甲状腺						

VIII 死亡症例検討会

第118回：平成30年 1 月22日

症例 1 67M A-1336

臨床診断 侵襲性肺炎球菌感染症、
重症敗血症及び敗血症性ショック

症例提示・病理報告

臨床研修医 佐藤 みさお 医師

臨床研修医 佐藤 和彦 医師

指導医 病理科 内ヶ崎 新也 医師

内 科 安宅 謙 医師

症例 2 57M A-1337

臨床診断 両側気管支肺炎、敗血症性ショック

症例提示・病理報告

臨床研修医 鈴木 優太 医師

臨床研修医 工藤 俊之介 医師

指導医 病理科 内ヶ崎 新也 医師

消化器科 古屋 紀彦 医師

第119回：平成30年 2 月26日

症例 1 71M A-1339

臨床診断 急性循環不全による突然死

症例提示・病理報告

臨床研修医 千葉 春輝 医師

指導医 内 科 菅 秀紀 医師

病理科 内ヶ崎 新也 医師

2017年 剖検記録要約

剖検番号	年齢	性別	臨床診断[科名]	病 理 診 断
1343	90歳	女性	左乳房悪性腫瘍術後 [外科]	1) 左乳房浸潤性小葉癌部分切除後に発生した原発性乳腺血管肉腫全摘後の胸壁残存及び胸腔播種と血行性肺転移、2) 右非特殊型浸潤性乳癌切除・ホルモン療法後状態（再発転移なし）、3) 左浸潤性小葉癌部分切除後状態（転移再発なし）、4) 上行結腸進行癌術後状態（転移再発なし）
1344	68歳	男性	慢性心不全 [循環器科]	1) 不整脈原性拡張性心筋症型心筋障害（心重量500g）、2) 心不全に伴う諸臓器うっ血（肺、肝臓、腎）
1345	85歳	男性	膵粘液産生性腺癌 [消化器科]	1) 浸潤性膵管内乳頭粘液性腺癌：胃体部上部・胃前庭部・十二指腸球部・横行結腸などへの穿孔と腹水貯留（1700ml）、2) 肝胆汁うっ滞及び埋没胆嚢、3) 肺水腫（左530g：右725g）

荘内病院年譜

2018年（平成30年）

2018年 年譜

1月1日 元日

1月4日 仕事始め 院内職場激励巡視

鶴岡市永年勤続表彰（25年勤続）

石塚 良二 蛸井 睦紀 梶谷 まゆみ 牧 順 五十嵐 可奈子 齋藤 千夏

八向 せつ 栗田 香 成澤 知美 山口 朱美 佐藤 登志江 小野寺 紀子

中條 由美 矢内 由紀 川村 奈美子 高橋 美知子 工藤 真紀子 本間 千春

鶴岡市名刺交換会

1月12日 鶴岡地区医師会新年会

1月13日 鶴岡地区薬剤師会新年会

1月18日 鶴岡地区歯科医師会新年会

1月20日 つるおか健康塾

1月24日 新潟大学関連院長会

1月29日 山形県がん診療連携協議会

2月7日 山形県自治体病院協議会講演会

2月19日 新潟大学医学部関連病院長会議

2月24日 庄内プロジェクト活動報告会

2月28日 荘内病院臨床研修委員会

3月1日 鶴岡准看護学院卒業式

3月3日 第42回荘内看護専門学校卒業式

3月9日 臨床研修医修了証授与式

3月12日 庄内保健医療協議会

3月17日 つるおか健康塾

3月18日 みらい健康調査セミナー

3月19日 鶴岡市休日夜間診療協議会総会

3月23日 山形大学医学部卒業式

3月24日 看護部病院説明・見学会

3月27日 蔵王協議会総会

3月30日 退職者辞令交付式

3/31付退職職員

医 師 小島 研司 石原 良

看 護 師 竹内 智美 佐々木 摂 伊藤 文子 小笠原 和希 伊藤 仁美

青柳 由紀子 長岡 淑子 佐藤 周子 佐藤 史枝 秋野 博子

小林 千穂 原 敬子

視能訓練士 藤井 良子

臨床検査技師 諏訪 晋一 和嶋 淳 横田 めい

薬 剤 師 庄司 知摩
理学療法士 本間 司
事 務 部 横田 丞美 菅原 稔
再任用 2 名

転 出 事務部 4 名

4 月 2 日 辞令交付式

4 / 1 付新規採用

研修医（管理型）2 名、医師 1 名、看護師 16 名、視能訓練士 1 名、診療放射線技師 1 名、
臨床検査技師 3 名、薬剤師 1 名、理学療法士 1 名、事務部 1 名

再任用 1 名

転 入 事務部 7 名

看護師院外派遣研修 昭和大学横浜市北部病院 1 名
新潟市民病院 1 名
静岡県立静岡がんセンター 3 名
山形大学医学部附属病院 1 名

4 月 12 日 第 45 回 荘内看護専門学校入学式

鶴岡准看護学院入学式

4 月 17 日 新潟大学関連病院長会

4 月 26 日 山形県自治体病院協議会

5 月 11 日 ふれあい看護体験 市内高校生が参加

5 月 16 日 南荘内緩和ケア推進協議会総会

5 月 19 日 つるおか健康塾

5 月 25 日 山形県自治体病院協議会総会

5 月 31 日 ANA すずらん行事

6 月 8 日 日本医療マネジメント学会（札幌市）

新潟大学関連病院長会議総会

6 月 20 日 院内コンビニエンスストアオープン

6 月 23 日 新潟大学医学部学生会懇親会・総会

6 月 27 日 鶴岡市立荘内病院創立記念式典 創立 105 周年

表彰者

10 年勤続医師 齋藤 なか 古屋 紀彦 丸谷 宏 吉田 幸恵

20 年勤続感謝状贈呈 鈴木 聡 佐藤 匡 秋野 晶 加藤 恭子 釵持 有紀子

小松 美和 佐藤 智子 菅原 園子 瀧川 祥子 難波 隆

渡邊 可奈子 渡部 美紀

鶴岡市休日夜間診療協議会総会

6 月 29 日 元看護部長 阿部恵子氏叙勲祝賀会

6 月 30 日 山形大学医学部コンサート

7 月 6 日 山形県病院協議会総会

7 月 17 日 呼吸器内科について蔵王協議会に要望書提出

7 月 20 日 元鶴岡地区医師会副会長 滝沢元氏叙勲祝賀会

- 7月21日 日本医療マネジメント学会山形県支部学術集会（山形市）
つるおか健康塾
- 7月27日 鶴岡地区勤務医と医師会員懇談会
- 7月31日 荘内病院火災総合訓練
- 8月2日 第8回荘内病院オープンホスピタル（17名参加）
- 8月3日 看護部病院説明・見学会
- 8月10日 ジュニアオーケストラミニコンサート
- 8月18日 病院ボランティア赤川花火観覧
- 8月25日 東北がんネットワーク協議会
- 8月26日 透析室40周年を記念する会
- 9月3日 庄内地域保健医療協議会
- 9月6日 北海道胆振東部地震発生 DMAT出動
- 9月9日 荘内看護専門学校 看学祭
- 9月14日 山形県病院協議会定期総会
永年勤続表彰（25年勤続）12名
- 9月23日 鶴岡市防災訓練
- 9月26日 緩和ケアコンサート
- 9月28日 新潟大学医学部学士会 荘内支部総会
- 10月1日 鶴岡市新市制施行記念式典
- 10月13日 荘内病院地震総合訓練
- 10月18日 緩和ケア講演会
- 10月26日 高校生セミナー（看護部）
- 11月7日 鶴岡地区病院協議会
- 11月8日 新潟大学関連病院長会講演会
- 11月9日 荘内看護専門学校 継灯式
- 11月10日 脳神経外科設置50周年を記念する会
ドクター出前講座（中央公民館）
- 11月15日 鶴岡准看護学院 戴帽式
臨床研修医 慶応大学先端研見学
- 11月17日 緩和ケア市民公開講座
- 11月22日 五者懇談会
- 11月25日 庄内医師集談会
- 11月30日 呼吸器内科について山形大学第一内科、日本海総合病院との協議開始
- 12月6日 山形ADR講演会
- 12月16日 みらい健康調査セミナー
鶴岡市名誉市民杉村隆氏へ医師派遣お礼のため面会
- 12月29日 奨学生との懇談会

鶴岡市立市立病院医学雑誌について

名 称	鶴岡市立市立病院医学雑誌	編集委員 委 員 長	白幡康弘
略 名	鶴岡市立病院医誌	副委員長	高柳健史
欧文名称	The Medical Journal of Tsuruoka Municipal Shonai Hospital	委 員	古屋紀彦 大滝雅博 武石越郎 草島宏平 富樫正子 遠藤広志 鈴木 郁 佐藤 郁 叶野明子 上林千夏 阿部奈美
欧文略称	Med.J.Shonai Hospital		
発 行 者	鈴木 聡		
発 行 所	鶴岡市泉町4番20号 鶴岡市立市立病院		
		発行部数	450部
		発行回数	毎年1回

鶴岡市立市立病院医学雑誌投稿規定 (第25巻より)

本誌の内容および投稿資格について

- 1 本誌に掲載する論文は、鶴岡市立市立病院の職員及びその関係者の投稿による。

以前当院の職員であった場合の投稿については、当院で経験された症例であり、他誌への掲載がない場合のみ投稿を許可する。

- 2 本誌は、医学に関する症例研究、学術研究、綜説、症例報告、集談会記録、この他病院活動、病院統計、病院管理運営に関する記録も収録する。

- 3 原著、綜説は未発表のものに限る。

- 4 他雑誌に全文収載された論文については、著書名、標題名、収載雑誌名、巻、号、ページ、年を記録し、抄録を載せる。

- 5 学会・集会等において、これらの記録誌に抄録のみ収載されたものについては、講演原稿あるいはこれを改稿して論文の体裁を整えたものあるいは抄録を収録して、発表した学会・集会名、発表年月日を併記する。

なお、4、5については、各部門の業績として責任者が一括して（様式は、別に定める）図書室司書に提出する。

- 6 論文は査読を行い、採否、掲載順序は編集委員会が決定する。

論文の構成と書き方

- 7 原稿の形式は、標題、氏名（所属）、400字程度の要約、Key words（5個以内）、本文、文献、写真、図表とする。

- 8 原稿は、原則として20字×20行とし、邦文、横書き、平かな、当用漢字（専門用語は使用してよい）、現代かなづかいを用いる。

原稿用紙は、20字×20行であれば、市販の用紙でもかまわない。

ワープロを使用する場合は、20字×20行詰原稿とする。

- 9 本文の長さは、原著24枚、症例20枚程度を標準とする。（図表を除く）

- 10 論文には英文タイトルおよびローマ字による著者名を併記する。

- 11 外国語の固有名詞は、原語のまま用いる。ただし、日本語化しているものは片かなとする。薬品名は、商品名を用いず、正式名を用いる。

- 12 度量衡は、C.G.S.単位とし、算用数字を用いる。ただし、専門的な分野については考慮する。

図・表・写真について

- 13 図表は、原稿本文とは別の用紙に黒インクで書き、表題や説明をつける。
- 14 写真等は、原則として白黒とし、挿入箇所は原稿用紙の欄外に朱書きする。
- 15 カラー写真は、原則として認めないが、編集委員会で認めたものについては、カラー印刷とする。

文献について

- 16 文献は、出現順に番号を文章の右肩に附し、本文の終わりにまとめて記載する。
外国雑誌は Index Medicus、邦文雑誌は医学中央雑誌収載誌目録による略語を使用する。著者は、初出の2名までとし、以下は邦文では他、欧文では et alと記載する。標題名は完全に記載する。

〔原著の場合〕

著者名：論文題名、雑誌名 巻(号)：頁～頁、西暦年号

例：

1) 邦文誌

宮田清典，高田 治，他：グルカゴンーインスリン療法にて減黄効果を得た胆汁うっ滞性黄疸の1例．最新医学 44(3):632-638,1989

2) 欧文誌

McMahon BJ, Helminiak C, et al: Frequency of adverse reactions to hepatitis B vaccine in 43,618 persons. Am J Med 92:254-256,1992

〔著書（単行本）の場合〕

著者名：題名、監修者名（編者名）、書名、版、頁～頁、出版社、出版地、西暦年号

例：

1) 和書

内野治人，他：前白血病．中尾喜久監修，白血病のすべて，2版，p38-45，南江堂，東京，

1981

2) 洋書

Gardnar MB: Oncogenes and acute leukemia. Stass SA(ed), The Acute Leukemias, p327-359, Marcel Dekker, New York, 1987

そ の 他

- 17 原稿申込は年中受け付けるものとするが、2月末日までに提出されたものは、最新号への掲載とする。原稿受付は編集委員会が行い、その受付代表を図書室司書とする。
- 18 校正は、原則として著者が行う。
- 19 別刷は、20部まで病院の負担で行う。それ以上は、実費を著者の負担とする。（校正時に別刷の部数を指定すること）
- 20 本誌に掲載された論文の著作権は、荘内病院に帰属するものとし、出版権・複製権・公衆送信権の利用について許諾するものとする。

(平成11年4月1日 改正)

(平成20年4月1日 改正)

(平成25年12月1日 改正)

(平成26年12月1日 改正)

【学術活動業績の書き方】

－他誌に論文を掲載した場合－

論文タイトル

鶴岡市立荘内病院所属科

著者名

掲載した雑誌名 巻(号)：頁～頁、西暦年号
要 約（必要な場合）

－学会に発表した場合－

論文タイトル

鶴岡市立荘内病院所属科

発表者

第〇回

学会名（発表した日付 西暦年 月 日）

抄 録（必要な場合）

－院外で講演を行なった場合－

講演タイトル

鶴岡市立荘内病院所属科 講演者

講演会名 (講演会日 西暦年 月 日)

－院内での各種研修会を行なった場合－

各部署ごとにまとめて、前巻にならって提出して下さい。

上記の様式で書き、各部門の責任者がまとめてから提出してください。

荘内病院医学雑誌編集委員会要綱

(目 的)

第1条 この要綱は荘内病院医学雑誌を編集するために設置する編集委員会（以下「委員会」という）について必要な事項を定めることを目的とする。

(所 轄 事 項)

第2条 委員会は、病院が発行する医学雑誌の編集および関係機関への配布を所轄する。この医学雑誌はとりあえず年1回発行し、将来は複数回発行を目指すものとする。

(組 織)

第3条 委員会は委員長1名、副委員長1名および若干名の委員より構成される。

2 委員は病院職員のなかから院長が委嘱する。

3 委員長および副委員長は委員の互選により決定する。

4 委員の任期は2年とし、欠員が生じた場合の任期は、前任者の残任期間とする。任期終了後、再度委嘱されることを妨げない。

5 次期委員の推薦は、編集委員の任期終了前に、病院管理者と委員との合同会議で行なうものとし、被推薦者の同意を得るものとする。

(顧 問)

第4条 委員会の円滑な運営を図るため、次の顧問を置く。

- (1) 副院長
- (2) 診療部長
- (3) 事務部長
- (4) 看護部長
- (5) 教育研究研修委員長及び副委員長

(支 援 組 織)

第5条 委員会において困難な問題が生じ、他の

病院職員の支援を必要とするような場合は、医長会議および科長会議に諮るものとする。これらの機関はしかるべき援助をしなければならない。

(会 議)

第6条 委員長は必要に応じて委員会を召集し会議を主催する。

2 副委員長は委員長を補佐し、委員長が不在のときはその職務を代行する。

3 委員会は必要に応じ、上記以外の職員または知識経験者の出席を求めて意見を聞くことができる。

(投 稿 等)

第7条 職員は病院の使命を果たすために必要な研讃に努めるとともに、委員会の業務に協力するものとする。

2 投稿規定は別に定める。

(庶 務)

第8条 委員会の庶務は事務部において処理する。

付 則

この要綱は、1989年6月より適用する。

この要綱は、2001年10月1日に改定、施行する。

この要綱は、2003年7月1日に改定、施行する。

編 集 後 記

2019年は、天皇の皇位継承により令和の年号となりました。10月22日には即位礼正殿の儀が行われ、日本人の古式から伝わる伝統に触れました。新しい希望に満ちた令和の時代が訪れました。また、2020年は東京オリンピックが開催され、日本人の活躍が期待されます。

一方、自然災害が市民の生活に大きな爪痕を残しました。6月18日の新潟・庄内地震では、今も尚、修復が進まない状況もあります。台風15号、19号は東日本の太平洋側を中心に、洪水など甚大な被害をもたらしました。温暖化により、このような台風の被害が今後増えることも予想されます。そのような中、荘内病院としては、しっかりと南庄内の医療を行い、災害に対する備えをしていかなければなりません。医療人として、市民として、職員一丸となって努めて参ります。

今回は、看護師の特定行為の特集を掲載しました。医師不足、偏在の中、医師のサポートとしてのみならず、その特長を生かして、医療に貢献して頂きたいと考えます。今後のますますの活躍を期待します。また、日々の忙しい診療の中、学会発表に頑張った方々、寄稿していただいた方々、雑誌編集にご苦勞していただいた方々に、厚く御礼申し上げます。令和の新時代にも、本誌の発展に向け、努力していきたいと考えます。

令和元年12月1日

編集委員 白 幡 康 弘

鶴岡市立荘内病院医学雑誌

第 30 卷

2020年 3月13日印刷
2020年 3月22日発行
発行者 鈴木 聡
編集者 鶴岡市立荘内病院医学雑誌編集委員会
発行所 鶴岡市立荘内病院内
鶴岡市立荘内病院医学雑誌編集委員会
〒997-8515 鶴岡市泉町4番20号
電 話 0235 (26) 5111
F A X 0235 (26) 5110
URL = <http://www.shonai-hos.jp>
e-mail : tosyo@shonai-hos.jp
印刷人 黒 井 徳 夫
印刷所 J A 印 刷 山 形
〒997-0004
鶴岡市本田字八百地275番地
電 話 0235 (24) 0690
FAX 0235 (24) 0637